

# 仕事の質と量をアップ

国際派ビジネスパーソンに英語のスキルが求められるのは当然のこと。むしろ今後の課題は、「翻訳業務の時間をいかに軽減するか」にある。ここでは、翻訳「作業」のムダに注目し、飛躍的な効率アップを図るための翻訳ソフト活用術を紹介しよう。

翻訳作業の効率化で



短期間で仕上げたい。英文を大量に読みたい。こんなニーズをプロ向け翻訳ソフトが解決!

**CASE 3**  
事前調査と書類作成の手間を短縮し、難解な特許出願も迅速、スムーズに  
【研究・開発部門/特許事務所】英語利用度 ★★★★★

独特の言い回しや表記が用いられる英文特許には、高い翻訳スキルが求められる。また類似技術の収集調査など前準備にも時間が必要に。特許特有の辞書や文法を組み込んだ「The翻訳プロフェッショナルV11特許エディション」があれば、難解な特許翻訳をスムーズにサポートし、短時間で効率のよい翻訳作業を実現する。

**CASE 1**  
過去の翻訳結果を活用してマニュアル翻訳の効率アップ  
【メーカー/技術翻訳事務所】英語利用度 ★★★★★

海外への製品出荷に伴い、必要となるマニュアルの翻訳作業。毎回一から作業しては納期に間に合わない。こんなとき、「The翻訳プロフェッショナルV11」があれば、類似製品や前バージョンで用いた訳文を効率的に引用できる。繰り返し登場する文章の入力などの単純作業を徹底的に自動化・効率化することで作業時間を短縮できる。

**CASE 4**  
海外商品・サービスの国内導入迅速な翻訳対応で企業競争力を強化  
【マーケティング部門】英語利用度 ★★★

欧米でヒットしている商品を日本にサービスインするプロジェクト。企画実現の第一歩として、まずは商品概要や、マーケティング調査の結果など、社内での確認・調整用の資料が必要に。目を通すべき英文書類は膨大だが、「The翻訳プロフェッショナルV11」を活用すれば作業もスピーディー。急を要する場面にも威力を発揮する。

**CASE 2**  
情報をボーダーレスで一元化して社内で情報共有  
【部門全般】英語利用度 ★★

企業内に蓄積された膨大な知的財産や技術資料。なかには海外の文献も少なくないだろう。これらの有益な英文情報を、部内の誰もが読めるように日本語に翻訳したい。そこで知識・情報の一元化に翻訳ソフトを活用する。文書全体を先読みして得られた情報を利用して翻訳する「2段階翻訳」を採用した「The翻訳プロフェッショナルV11」なら、専門性の高いさまざまな分野の文書でも高精度に翻訳。社内の英文情報共有も効率的に進められる。



**「The翻訳プロフェッショナル」の効用**

- 適切な翻訳で業務がスムーズに
- 翻訳結果の活用でこなれた表現に
- 使うほどに翻訳ソフトも自分も成長する



**翻訳ソフトが作業を肩代わり**

「英語力には自信があるから」そんな理由で、翻訳ソフトを敬遠しているとしたら、実にもったいない話である。財務のプロが計算機を使うのと同じように、翻訳ソフトは国際ビジネスの現場で「使える」ツールなのだ。

たとえば、英文を読んで頭に訳が浮かんでも、それを第三者に伝えるためには、一から文章化しなくてはならない。これは英語スキルの有無とはまったく別の次元で生じる「作業」である。的確な訳をひとつひとつ選択し、意味の通じる文章を練り上げるのは、それなりの時間がかかるだろう。こうした作業負担を代行してくれるのが、翻訳ソフトなのである。

また、翻訳という知的作業ばかりでなく、入力などの手作業を軽減するツールとしても翻訳ソフトは重宝する。とくに文字認識するOCRが付いたプロ向けソフトであれば、印刷物から直接原文を書き起こせ、資料作成などの作業時間も一気に短縮できるに違いない。

中国地方はChinaではなくChugoku、米国中部はCentralと、関連性を把握して的確に翻訳。また文書全体を先読みして得られた情報を使って翻訳する「2段階翻訳」を使えば、reliever(救済者)も、野球に関する文書内では、「リリーフ投手」と訳される。

Area	Number
Hokkaido	2
tohoku	6
kanto	10
hokuriku	3
chubu	5
kansai	3
chugoku	5
shikoku	4
kyushu	7

Area	Location
China	Beijing
	Shanghai
United States	East: Washington
	New York
	Central: Chicago
	Detroit
	West: San Francisco
	Seattle
Australia	Melbourne

## 効率化その1

ドキュメントの趣旨を正しく把握したい、伝えたい  
▶新CFエンジンで趣意に適した訳語をピックアップ

## 効率化その4

英文の特許書類を読むときは?  
▶特許特有の表現を把握して、読みやすい文章に翻訳

□原文の特許文書  
A translation apparatus according to claim 1, wherein said component unit of at least one of said first language text and said second language text is a paragraph or a sentence.

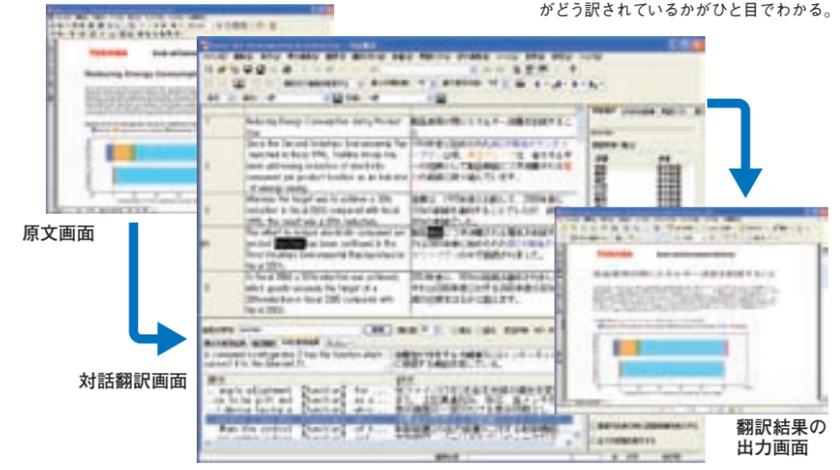
↓一般文書としての訳  
クレーム1に記載の翻訳装置、そこで、少なくとも1の前述のコンポーネント・ユニット、第一言語テキストは言い、第二言語テキストがパラグラフまたは文であると言った。

↓特許文書としての訳  
前記第一言語テキストおよび前記第二言語テキストの少なくとも1つの前記構成要素のユニットはパラグラフまたは文であることを特徴とする請求項1に記載の翻訳装置。

## 効率化その2

原文と見比べながら翻訳したい  
▶対訳エディタでしっかりチェックできる

文書に対訳翻訳に読み込んで翻訳・編集後、元のレイアウトを反映できる。翻訳結果を一文字ずつ対応づけて表示するため、原文がどう訳されているかがひと目でわかる。



## 効率化その3

何度も同じような表現を訳したり、書く手間を省きたい  
▶これまでの翻訳結果を活かせる「翻訳メモリ機能」

編集後の訳文をメモリ辞書に登録することで、頻出文書の翻訳・編集の手間が省け、作業効率が大幅アップ。用語や表現の統一感も得られる。

### 翻訳メモリの適用例

□メモリ辞書登録文  
原文: Arranging Your Work on Disks Efficiently  
訳文: ディスク作業の効率化

↓登録文が引用表現で利用された場合

原文: See "Arranging Your Work on Disks Efficiently" in Chapter 3 for more information about disks.  
訳文: ディスクについての詳細は、3章の中の「ディスク作業の効率化」を参照してください。

**プロが求める翻訳ソフトとは?**

翻訳ソフトの使命は、適切な訳を導き出すことにある。なかでも翻訳精度の高さで多くのプロユーザーに支持されているのが、「The翻訳プロフェッショナルV11」だ。

高い翻訳精度の秘密は、定評ある翻訳エンジンをさらに強化した「新CFエンジン」にある。これは文脈情報と書式情報を利用した翻訳に加え、文書全体を先読みする「2段階翻訳」により、文脈にふさわしい訳語を選択するというもの。長年積み上げてきたノウハウが実現した、高度なインテリジェンス機能だ。

また「翻訳メモリ」や「対訳エディタ」のほか、業界固有の言い回しを学習する「セレクトコーパス翻訳」、翻訳支援ツール「TRADOS」とのデータ相互連携など、現場で役立つ知識蓄積ツールも満載。商品やマニュアルのローカライズなど、短期間に大量の翻訳作業が発生する場合も、過去の翻訳結果を再利用することで業務効率がぐんと向上するはずだ。さらに作業の短縮化は、フィニッシュワークの余裕にもつながる。優れた翻訳ソフトは、仕事のクオリティアップにも貢献してくれるのである。